

## 医療法人はごろも会 仲本病院(現 那覇ゆい病院)

### 病棟での看護師から看護補助者へのタスクシフトによる業務改善



病床数 75 床 療養病床 59 床 域包括病床 16 床  
職員数 137 名 看護師 32 名 看護補助者 34 名

#### 《課題・背景》

- ◆人員不足に伴い本来の看護師業務が困難
  - 退院支援が不十分
  - ケアの質の低下
  - コミュニケーション不足による ACP 不十分
- ◆現状分析
  - 看護師と補助者が同様のケアを行っている
  - 補助者の業務範囲や教育体制が不十分

#### 《目的・目標》

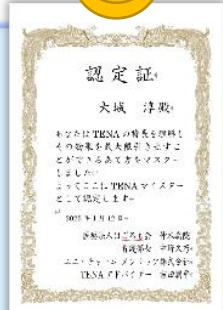
- 1 看護師の専門性が発揮できる職場環境をつくる
- 2 看護補助者の活用推進のための適切なマネジメントを行う

#### 《取組み内容》

##### オムツ交換時の皮膚観察項目（補助者用）

看護補助者用 オムツ交換時の皮膚観察項目	
観察項目	内容
1 おむつの状態、おむつの色	オムツの状況から漏れの有無
2 脱衣の状態	オムツの漏れの量(少い/多い)でできているか
3 おむつの洗濯方法	マニキュアの量(あるなし)、付着(白や青の付着)
4 皮膚の状態	ブリストルカラム、色、量など
5 おむつの持続	おむつ交換までの間隔

習得出来たら  
**認定証授与**



#### 1 看護師の専門性が発揮できる職場環境をつくる

- 業務スケジュールおよび手順の標準化
- 看護補助者へのタスクシフト(調査の結果でおむつ交換)することで以下を充実
  - ① 家族との連絡調整業務 ②チームカンファレンス ③退院支援カンファレンス
  - 各委員会活動の促進(リンクナースの活動促進)

#### 2 看護補助者の活用推進のための適切なマネジメントを行う

- 看護補助者への教育
  - ① e-ラーニングの導入 ②排泄ケア勉強会の開催 ③ラウンド参加による知識の習得
  - ④看護補助者ラダーの導入
- 看護補助者業務の標準化

#### 《成果・効果》

- ① 看護補助者への教育・業務の標準化したこと
  - ▶看護補助者に安心して業務を任せることができた
- ② 退院調整カンファレンス件数が増えたことで
  - ▶平均在院日数の減少につながった
- ③ 委員会活動の強化を図ったことで
  - ▶リンクナースの役割の発揮できた

#### ナースセンターから一言

- ◎看護補助者の業務の標準化を行い、オムツ交換時の皮膚観察が習得できた場合は認定証を発行し補助者のやりがいにつながる取り組みを評価♪♪
- ◎安心してタスクシフトできる報告ですので、是非参考にしてみてください。



**タスクシフトにより看護師が専門性の業務に専念できた**

